

実施過程	実施内容・要点	時間 55分	プレゼン 進行者の主な指示例・発問例	*留意点 【 】内は使用する資料名
はじめに	<p>◎本校内研修の概略説明</p> <p>1 ねらいの確認</p> <p>(1) 気持ちの伝え方の難しさや相手への配慮の大切さを再確認する。</p> <p>(2) 演習を通して、保護者とのトラブルを未然に防ぐ力を養う。</p> <p>○ウォーミングアップ</p>	10	<p>1 [説明] 今日は「保護者とのトラブルの未然防止」について研修します。</p> <p>2 [説明] 今日のねらいを確認します。今日のねらいは「気持ちの伝え方の難しさや相手への配慮の大切さを再確認する」「演習を通して、保護者とのトラブルを未然に防ぐ力を養う」の2つです。</p> <p>〈指示〉 それでは、研修の前にウォーミングアップをしましょう。「イメージスケッチ」です。これから私が言う通りに絵を描いてください。イメージスケッチですので、細部にこだわらなくて結構です。時間の範囲内で描いていきましょう。用紙の準備はいいですか。では、始めます。『道路の脇に一軒の家が建っています。(数秒待つ) 庭には花が咲いています。(数秒待つ) そこにチョウチョウが飛んできました。(数秒待つ) 道路の向こうからは車がきます。(数秒待つ)』いかがですか。それでは、自分の描いたスケッチを近くの方と見せ合ってみましょう。(数秒待つ) いかがですか。同じ指示で描いたのに、周りの方と違うスケッチになった方もいらっしゃったようですね。ちなみに、私はこんなスケッチになりました。(進行者が事前に参加者全員に見えるくらい大きさにペン等で描いておいたスケッチを見せる) 私と同じようなスケッチになった方はいらっしゃいますか。(挙手してもらおう) 違ったスケッチになった方はいらっしゃいますか。(挙手してもらおう)</p> <p>[説明] 私が言ったことを私のイメージと同じように全ての方にイメージしてもらおうのは難しいですね。また、同じ指示を聞いても、人によってイメージしたことが違っていましたね。</p>	<p>*席は、演習の都合上、年齢や経験年数、学年がばらばらになるような3人組を事前に決め、椅子のみを準備する。</p> <p>*机がないため、バインダーがあると研修しやすい。</p> <p>【テキスト資料】</p> <p>*学校の実態と関連づけて、本校内研修のねらいを説明する（具体的事例を入れながら説明できると研修者の必要感が高まる）。</p> <p>*筆記用具（各自）、A4サイズ用紙（一人一枚）を準備する。</p> <p>*ウォーミングアップを通して和やかな雰囲気をつくる。</p>
I 演習	<p>2 3パターンの言葉かけ</p> <p>【事例1】 【事例2】</p>	25	<p>3 〈指示〉 これからロールプレイを行います。(演習進行案1または2を参照)</p> <p>7 〈指示〉 ロールプレイお疲れ様でした。</p>	<p>【演習進行案1 or 2・演習資料1 or 2】</p> <p>*【演習進行案】【演習資料】は1（清掃編）か、2（休み時間編）のどちらかを選択して行う。</p>
II 説明	<p>3 保護者とのトラブル防止のために</p> <p>(1) 基本的な姿勢</p> <p>①肯定的にみる</p> <p>②リスペクト（尊敬）の気持ちをもつ</p> <p>③相手の気持ちを理解する</p> <p>④<b>心配り</b>をする</p> <p>(2) 心配りのポイント</p> <p>①思い込みを排除する</p> <p>②相手の都合を考慮する</p> <p>③相手の話を十分に聴く</p> <p>④過去のことを持ち出さない</p> <p>⑤Iメッセージで話す</p> <p>⑥具体的な助言をする</p> <p>(3) 普段の生活で大切なこと</p> <p>①児童との<b>関係づくり</b>をする</p> <p>②学校での様子を保護者に知らせる</p> <p>③当たり前のことを当たり前にする</p>	15	<p>8 [説明] 初めのウォーミングアップでも、今行ったロールプレイでもお気づきのように、先生方の真意を児童や保護者に伝えるのは大変難しいことです。先生も保護者も児童を思う気持ちは一緒のはずなのに、両者の思いのずれから大きなトラブルへと発展してしまうケースが多くあります。そのような保護者とのトラブルを防ぐための基本的な姿勢としては、相手を肯定的にみる努力をすることと、相手をリスペクト（尊敬）する気持ちを持つことが大切です。相手を見下したり、もともと話にならないというような態度で接しては、自分の思いを理解してもらえないはずはありません。また、相手の気持ちを理解するように努めることで、より相手の思いが理解できるようになるとともに、相手へ<b>心配り</b>をすることで、自分の思いが大きくずれることなく相手に伝わっていきます。相手への心配りとは、相手に対する配慮、心遣いのことです。相手のためになるように思いやりの心をはたらかせることです。自分のことを真剣に考えてもらって嫌な気持ちになる人は、そうはいないでしょう。相手の存在を認め、対等の人間として大切にしていこうという姿勢で最大限の心配りをするのが保護者とのトラブル防止の基本です。</p> <p>9 [説明] 具体的な心配りのポイントは、</p> <p>①思い込みを排除する→自分が当たり前だと思っていることは本当に正しいのか、善意の押しつけになっていないか、振り返ることが必要です。例えば、児童には厳しく指導しなければわかってもらえない、これくらいのことで泣くようでは立派な大人にはなれない、児童はいつでも私の助けを必要としている、などです。</p> <p>また、学校として非は非として伝えなくてはいけない場面もあります。その際にも、事実以外のことを臆測で話したり、感情を交えたりして話すのではなく、行動や出来事の事実のみを話しましょう。例えば、「友だちのペンケースを隠すという意地悪をしたのは、きっと家庭で寂しい思いをしているからですよ」×、「友だちのペンケースを隠しました。どうしてそのようなことをしたのか訊きました」○などです。</p> <p>②相手の都合を考慮する→自分の都合で一方向的に呼び出したり、電話をしたりするのはなく、相手の都合も考えましょう。</p> <p>③相手の話を十分に聴く→相手の話を聴くことは、話の基本です。相手にあまり話をさせずに、自分ばかり一方的に話していませんか。自分が話す前に、まずは相手の話を十分に聴きましょう。そうすることで満足感が生まれ、信頼へとつながっていきます。</p> <p>④過去のことを持ち出さない→たとえ過去に原因があっても、過去を変えることはできません。「前にもこんなことがあったから」「あのときこうしておけばよかったのに」と言っても、今はそれをどうすることもできません。今できること、これから取り組めることを考えましょう。</p> <p>⑤Iメッセージで話す→「あなたは～」という話し方ではなく、「私は～」という話し方をした方が素直に聞いてもらえます。例えば、「(あなたは) だらしがないね」×、「(私は) ここを片付けてほしいな」○などです。</p> <p>⑥具体的な助言をする→抽象的な助言では意味がありません。相手に分かりやすい言葉で具体的な助言をすることが大切です。例えば、「力になってあげてください」×、「毎朝、起こしてください」○などです。</p> <p>10 [説明] 普段の生活で大切なことは、日頃から児童とよい関係をつくるように心がけることです。児童に信頼してもらえれば、児童を通して保護者への信頼を獲得することにつながります。子どもが学校や先生の対応に満足していれば、保護者も学校や先生に不満を抱くことも少なくなるのではないのでしょうか。何はともあれ、主役は児童です。児童との<b>関係づくり</b>にエネルギーを注ぎましょう。また、学校の様子を保護者に知らせることも大切です。保護者に学校での様子を積極的に知らせることで、先生方の熱心さや誠意が伝わるとともに、保護者の安心感や学校への信頼感が高まります。もちろん、児童の問題点や悪い面ではなく、良い面での様子をたくさん伝えます。「学校からの連絡＝(イコール) 子どもの良くないことばかり」では、保護者も先生と話をしたくなくなってしまうですね。保護者は最大の協力者ですので、敵対するのではなく児童のために一緒に考えるという姿勢を示しましょう。これまでの話は、特に新しいことではありません。当たり前のことを当たり前にごく大切にしてください。</p>	<p>【テキスト資料】</p> <p>*学年・学級通信を発刊している先生、学校での様子を知らせている先生の例（具体名ではなく、一般論で）などを話すことよい。</p> <p>*保護者とのトラブルの未然防止（2）を同時に行う時は、この後に演習「保護者とのトラブルの未然防止」を追加する。</p>
III まとめ	<p>◎活動の振り返り</p> <p>◎進行者のまとめ</p> <p>保護者とのトラブルの未然防止に大切なのは</p> <p>→相手への細やかな（<b>心配り</b>）</p> <p>→普段からの児童との（<b>関係づくり</b>）</p>	5	<p>11 〈指示〉 今日のまとめです。テキスト1ページのまとめの（ ）に今日のキーワードを入れて確認してください。(1分程度時間を取る)</p> <p>12 [説明] 相手に自分の気持ちを誤解なく伝えることは大変難しく、真意を伝えるには相手への細やかな（<b>心配り</b>）が必要です。また、保護者とのトラブルを未然に防ぐためには、普段からの児童との（<b>関係づくり</b>）も大切です。今日の研修を基に、児童と良好な関係を築くことはもちろん、保護者とも良好な関係を築き協力して児童の成長を応援していきましょう。</p> <p>(称賛) 今日は、先生方の熱心な取り組みがたいへん印象に残りました。ありがとうございました。</p>	<p>【テキスト資料】</p> <p>*テキストを基にまとめを丁寧に行っていく。</p>

## 保護者とのトラブルの未然防止（１）

### 1 ねらいの確認

- （１） 気持ちの伝え方の難しさや相手への配慮の大切さを再確認する。
- （２） 演習を通して、保護者とのトラブルを未然に防ぐ力を養う。

### 2 演習

演習資料 【事例１】（清掃編）または【事例２】（休み時間編）「３パターンの言葉かけ」に取り組んでみましょう。

### 3 保護者とのトラブル防止のために

- （１） 基本的な姿勢
  - ① 肯定的にみる。
  - ② リスペクト（尊敬）の気持ちをもつ。
  - ③ 相手への気持ちを理解する。
  - ④ **心配り**をする。
- （２） 心配りのポイント
  - ① 思い込みを排除する→自分の当たり前は本当に正しいのかをふり返る。
  - ② 相手の都合を考慮する→一方的でなく、相手の都合も考える。
  - ③ 相手の話を十分に聴く→相手の話を聴くことは、話の基本である。
  - ④ 過去のことを持ち出さない→今できること、これから取り組めることを考える。
  - ⑤ Iメッセージで話す→「私は～」という話し方をする。
  - ⑥ 具体的な助言をする→相手に分かりやすい言葉で具体的な助言をする。
- （３） 普段の生活で大切なこと
  - ① 児童との**関係づくり**をする。
  - ② 学校での様子を保護者に知らせる。
  - ③ 当たり前のことを当たり前にする。

### 4 まとめ（ ）に本日の研修のキーワードを入れてみましょう

- 保護者とのトラブルの未然防止に大切なのは、相手への細やかな（ ）です。  
また、保護者と良好な関係をつくるためには、普段からの児童との（ ）も大切です。

## 3 パターンの言葉かけ (清掃編)

### パターン 1

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ 〈パターン 1〉
- (3) グループでの振り返り

《役割分担》

- ・ A 先生役
- ・ B 子の父親役
- ・ 観察者

### 【事例 1】

A 先生は、B 子の担任です。B 子が、今月担当する清掃場所は教室です。A 先生はいつも、児童に対しては、「やるべきことはしっかりとやらせることが大切だ」と考えています。

B 子は、クラスでも発言力があり、リーダーとしても期待されている児童です。しかし、B 子自身に、まだまだ自覚がないので、A 先生としては B 子にもう少ししっかりして欲しいと思っています。

〈パターン 1〉

ある日の清掃時、B 子がほうきを持ったまま、壁により掛っていたので・・・

「なにやってんだ。ちゃんと掃除しろ。」と、注意しました。

A 先生は普段からこのような言葉かけをしています。そんななか、突然 B 子の父親が来校しました。

父：「A 先生はいますか？」

A：「え？どなたですか？」

父：「B 子の父親です」

A：「あ～、B 子さんのお父さんですか」

父：「あなたが A 先生ですか。うちの B 子が、A 先生に掃除の時間に突然怒鳴られたと言って帰ってきて泣いてるんですよ。子どもの話も聴かずに一方的に怒鳴るのはひどいじゃないですか」

A：「掃除の時間ですか。いやあ、一方的ではないですよ」

父：「B 子は A 先生が話も聴かずに突然怒鳴ったって言ってますよ。それに A 先生はいつも B 子にばかり厳しいって」

A：「B 子さんがそんなこと言ったんですか。まあ子どもは、お父さんお母さんには、自分に都合のいいように話しますからねえ」

父：「うちの B 子が嘘を付いてるとでも言うんですか？」

A：「いえ、私は、B 子さんがお掃除の時間にボーッとしていたので注意したんです」

父：「子どもなんですからやさしい注意の仕方があるでしょう？もう学校にも行きたくないって言ってるんですよ。どうしてくれるんですか」

A：「そうは言っても掃除はちゃんとやらなくてははいけませんからね。みんなやっているのに、B 子さんだけがやらない訳にはいきません。お父さんから、掃除はちゃんとやるように言ってください」

《振り返りの視点》

- ☆ A 先生という言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A 先生の気持ちは？
- ☆ 父親と A 先生の関係は？
- ☆ 今後の B 子への影響は？

## 3 パターンの言葉かけ (清掃編)

### パターン 2

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ 〈パターン 2〉
- (3) グループでの振り返り

《役割分担》

- ・ A 先生役
- ・ B 子の父親役
- ・ 観察者

### 【事例 1】

A 先生は、B 子の担任です。B 子が、今月担当する清掃場所は教室です。A 先生はいつも、児童に対しては、「やるべきことはしっかりとやらせることが大切だ」と考えています。

B 子は、クラスでも発言力があり、リーダーとしても期待されている児童です。しかし、B 子自身に、まだまだ自覚がないので、A 先生としては B 子にもう少ししっかりして欲しいと思っています。

〈パターン 2〉

ある日の清掃時、B 子がほうきを持ったまま、壁により掛っていたので・・・

「どうした？どこか調子でも悪いのか？」と声をかけました。特に体調が悪いわけではないことを確認したので、「今は掃除の時間だから、一緒に教室をきれいにしような。きれいな教室だと気持ちいいもんな。先生は、どこを手伝えればいいかな？」と話しました。

A 先生は普段からこのような言葉かけをしています。  
数日後、運動会があり、B 子の父親が来校していました。

- A : 「こんにちは。B 子さんのお父さんですか。初めまして、担任の A です。お父さん、見に来てくださったんですね。B 子さんから、お父さんは忙しくて来られないかも知れないと聞いていたので、来てもらえてよかったです。B 子さん、今日は準備係で頑張っていますよ。私がいつも言っていることなのですが、自分の役割をしっかりと行えるということは素敵ですよ」
- 父 : 「いや～、『お父さん来るの？』なんて言われたんですけど、妻がビデオを撮れって言うもんですから」
- A : 「お忙しいのにありがとうございます。ときどき B 子さん、お父さんのお話をしてくれるんですよ。毎日、お仕事で遅く帰ってくるけど休みの日にはいっぱい遊んでくれるって。今日は、B 子さんも喜んでいてと思います」
- 父 : 「B 子、そんなこと言ってるんですか」
- A : 「ええ。お忙しいとは思いますが、また学校にいらしてくださいね。今日は応援よろしくお祈いします」
- 父 : 「はい、また休みを取って伺いたいと思います。何かと面倒をおかけするかと思いますが、今後ともよろしくお祈いします」
- A : 「こちらこそ、よろしくお祈いします。」

《振り返りの視点》

- ☆ A 先生という言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A 先生の気持ちは？
- ☆ 父親と A 先生の関係は？
- ☆ 今後の B 子への影響は？

## 3 パターンの言葉かけ (清掃編)

### パターン 3

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ 〈パターン 3〉
- (3) グループでの振り返り

《役割分担》

- ・ A 先生役
- ・ B 子の父親役
- ・ 観察者

### 【事例 1】

A 先生は、B 子の担任です。B 子が、今月担当する清掃場所は教室です。A 先生はいつも、児童に対しては、「やるべきことはしっかりとやらせることが大切だ」と考えています。

B 子は、クラスでも発言力があり、リーダーとしても期待されている児童です。しかし、B 子自身に、まだまだ自覚がないので、A 先生としては B 子にもう少ししっかりして欲しいと思っています。

〈パターン 3〉

ある日の清掃時、B 子がほうきを持ったまま、壁により掛っていたので・・・

「なにやってんだ。ちゃんと掃除しろ。」と、注意しました。

B 子は廊下に出て、その後は廊下掃除をしていました。A 先生は、他の生徒の指導もあるので後で B 子と話をしようと思っていましたが、来客があり話ができないまま B 子は帰ってしまいました。

次の日、B 子は学校を欠席し、夕方、B 子の父親が来校しました。

父：「〇年〇組の担任は？」

A：「〇年〇組の担任は私ですが・・・」

父：「あなたですか。B 子のことを怒鳴ったのは？」

A：「あ、B 子さんのお父さんですか？ こんばんは。A です」

父：「子どもを突然怒鳴るってどういうことですか？」

A：「B 子さんが、怒鳴られたって言ったんですか？」

父：「そうですね。うちの子は何もしていないのに、掃除の時に先生に突然怒鳴られたと言ってショックを受けているんですよ」

A：「そうでしたか。ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。実は、清掃中に掃除をしないで壁に寄りかかっていたので、掃除をちゃんとやるように言ったんです。B 子さんは、うちのクラスのリーダー的存在ですので、みんなのお手本になってもらいたいと思ったものですから。昨日のうちに B 子さんにきちんと話をすれば B 子さんもお父さんも心配することはなかったのに。申し訳ありませんでした」

父：「先生なんだから、先ず子どもの話を聴いてから注意してもらわないと困ります」

A：「そうですね。これからは余計なご心配をおかけしないように気をつけます。明日私からも B 子さんに話します。わざわざお話しに来てくださってありがとうございます」

《振り返りの視点》

- ☆ A 先生という言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A 先生の気持ちは？
- ☆ 父親と A 先生の関係は？
- ☆ 今後の B 子への影響は？

## 3 パターンの言葉かけ（休み時間編）

### パターン1

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ〈パターン1〉
- (3) グループでの振り返り

《役割分担》

- ・ A先生役
- ・ B男の父親役
- ・ 観察者

### 【事例2】

A先生は、B男の担任です。A先生は、子どもたちの自主性を大切に、自分たちでよく考えて行動できる子にしたいと思っています。

B男はいつも元気で体を動かすことが大好きな児童です。休み時間には校庭に出て、友だちと一緒にサッカーをしたり、ドッチボールをしたりすることが多いのですが、友だちのことを考えずに自分の思いのままに行動してしまいトラブルになることが度々あります。

〈パターン1〉

ある日の休み時間、校庭でB男がけんかをしているとの報告を受け行ってみると、いつもおとなしいC男とつかみ合っていました。

「こら。何やってんだ。また、B男か。もう止めなさい」と言いながら二人の間に入り、その場を納め、後は二人で話し合っって仲直りするよう言いました。

A先生は普段からこのような言葉かけをしています。その日の放課後、突然B男の父親が来校しました。

- 父：「B男の父親ですが、A先生はいますか？」  
 A：「あ～、B男くんのお父さんですか」  
 父：「あなたがA先生ですか。うちのB男が、A先生に『またお前か』って言われたと言って帰ってきたんですよ。『また』ってどういうことですか」  
 A：「いやいや、そんなふうには言ってないですよ」  
 父：「B男はそう言われたって言ってますよ。それにA先生はいつもB男ばかり怒るって」  
 A：「B男がそんなこと言ったんですか。まったく・・・子どもは、お父さんお母さんには都合のいいように話しますからね」  
 父：「うちのB男が嘘を付いてるとでも言うんですか？」  
 A：「いえ、私は、B男くんが友だちとけんかをしていたので、『もうけんかは止めなさい』と言ったんです。B男くんは毎日のように友だちとけんかになっちゃうんですよ。」  
 父：「なんでそうなるか考えて、何とかしてくれるのが先生なんじゃないんですか？B男は、もう学校にも行きたくないって言うてるんですよ。うちの子なんか学校に来なくなればいいと思ってるんですよ」  
 A：「そんなことはないですよ。困ったなあ」

《振り返りの視点》

- ☆ A先生の言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A先生の気持ちは？
- ☆ 父親とA先生の関係は？
- ☆ 今後のB男への影響は？

## 3 パターンの言葉かけ（休み時間編）

### パターン2

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ 〈パターン2〉
- (3) グループでの振り返り

《役割分担》

- ・ A先生役
- ・ B男の父親役
- ・ 観察者

### 【事例2】

A先生は、B男の担任です。A先生は、子どもたちの自主性を大切に、自分たちでよく考えて行動できる子にしたいと思っています。

B男はいつも元気で体を動かすことが大好きな児童です。休み時間には校庭に出て、友だちと一緒にサッカーをしたり、ドッチボールをしたりすることが多いのですが、友だちのことを考えずに自分の思いのままに行動してしまいトラブルになることが度々あります。

〈パターン2〉

ある日の休み時間、校庭でB男がけんかをしているとの報告を受け行ってみると、いつもおとなしいC男とつかみ合っていました。

「おやおや。どうしたの？何かあったの？」と言いながら二人の間に入り、互いの話を聴き、仲直りさせることができました。

A先生は普段からこのような言葉かけをしています。  
数日後、授業参観があり、B男の父親が来校しました。

- A：「こんにちは。B男くんのお父さんですか。初めまして、担任のAです。授業参観に来てくださったんですね。ありがとうございます」
- 父：「いや～、『お父さんは来なくていい』なんて言われたんですけど、たまたま今日休みだったものですから」
- A：「お休みの日にお疲れ様です。B男くん、そんなこと言ったんですか？(笑) B男くんは、外で遊ぶのが好きですね。いつも、『先生サッカーしよう』って誘ってくれるので、私もB男くんとサッカーするのを楽しみにしてるんですよ」
- 父：「そうですか。私は仕事のせいでなかなか遊んでやれなくて」
- A：「お仕事をされているとなかなか時間を作るのが難しいですよ。ね。学校だと友だちもいて、時々けんかもしますけど(笑) 遊びながらいろんなことを学んでいけますからね。お父さん、お忙しいとは思いますが、また、ぜひいらっしゃってください」
- 父：「はい、また伺います。ご面倒をおかけしますが、今後ともよろしく願います」
- A：「こちらこそ、よろしく願います」

《振り返りの視点》

- ☆ A先生の言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A先生の気持ちは？
- ☆ 父親とA先生の関係は？
- ☆ 今後のC男への影響は？

## 3 パターンの言葉かけ（休み時間編）

### パターン3

《演習の流れ》

- (1) 役割分担
- (2) ロールプレイ（パターン3）
- (3) グループでの振り返り

《役割分担》

- ・ A先生役
- ・ B男の父親役
- ・ 観察者

### 【事例2】

A先生は、B男の担任です。A先生は、子どもたちの自主性を大切に、自分たちでよく考えて行動できる子にしたいと思っています。

B男はいつも元気で体を動かすことが大好きな児童です。休み時間には校庭に出て、友だちと一緒にサッカーをしたり、ドッチボールをしたりすることが多いのですが、友だちのことを考えずに自分の思いのままに行動してしまいトラブルになることが度々あります。

〈パターン1〉

ある日の休み時間、校庭でB男がけんかをしているとの報告を受け行ってみると、いつもおとなしいC男とつかみ合っていました。

「こら。何やってんだ。また、B男か。もう止めなさい」と言いながら二人の間に入り、その場を納め、後は二人で話し合っって仲直りするよう言いました。

B男は不機嫌な様子で教室に戻ってきました。A先生は、授業が始まってしまったので後でB男と話をしようと思いましたが、他の子の対応があり話ができないままB男は帰ってしまいました。

次の日、B男は学校を欠席し、夕方、B男の父親が来校しました。

父：「A先生は？」

A：「Aは私ですが・・・」

父：「あなたですか。B男のことをいつも悪者にするのは？」

A：「あ、B男くんのお父さんですか？こんばんは。Aです。悪者って、B男くんがそう言ったんですか？」

父：「そうですよ。先生に『またお前か』って言われて、うちの子はショックを受けているんですよ」

A：「そうでしたか。ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。実は、おとといもけんかして、これからは気をつけると約束したばかりだったものですから、またかと言ってしまったんです。B男くんをいつもそんなふうにいる訳ではないのですが・・・。誤解される言葉でしたね。それに昨日のうちにB男くんときちんと話をすればB男くんもお父さんも、こんなに心配することはなかったですね。申し訳ありませんでした」

父：「先生なんだから、ちゃんと考えて話してもらわないと困ります」

A：「そうですね。これからは余計なご心配をおかけしないように気をつけます。明日私からもB男くんに話します。わざわざお話しに来てくださってありがとうございます」

《振り返りの視点》

- ☆ A先生の言葉かけは？
- ☆ 父親の気持ちは？
- ☆ A先生の気持ちは？
- ☆ 父親とA先生の関係は？
- ☆ 今後のB男への影響は？

## 3 パターンの言葉かけ (清掃編)

### 〈準備物〉

- ・タイマー (進行者用) ・演習資料 1 (各自)

### ロールプレイの進め方の説明 (6分)

- ・「これからロールプレイを行います。演習資料 1 『3 パターンの言葉かけ (清掃編)』をご覧ください」
- ・「あらかじめお願いしていた 3 人組でロールプレイを行っていただきます」
- ・「最初に、役割分担をします。A 先生役、B 子の父親役、観察者です。今日の演習では、この 3 つの役を全て体験してもらいます。まず、初めの演習での役割を決めてください。  
(様子を見て) 決まりましたか。それでは、役割を確認します。(挙手してもらおう) A 先生役の方? B 子の父親役の方? 観察者の方? ありがとうございます。椅子はグループで話し合っ、話しやすいようにご自由に動かしていただいて構いません」
- ※ ロールプレイなので、役割は性別にこだわらなくてよい。
- ・「それでは、事例 1 とパターン 1、パターン 2、パターン 3 に目を通してください」  
(様子を見て)
- ・「確認ですが、前提として、A 先生は指導に関してとても熱心です。そして、B 子を嫌っているというわけではありません」
- ・「質問はありませんか」



### ロールプレイ 〈パターン 1〉 (2分)

- ・「まず初めは、パターン 1 でロールプレイを行います。ロールプレイですから、できるだけその役になりきって演じてください。本気で演じることで、お互いがどのように感じるかわかるとおもいます」
- ・「時間は 2 分です。それでは始めてください」 (2分)
- ※ 進行者は、各グループを回ってロールプレイの様子を観察し、照れがあるグループには真剣に行ってもらえるよう声をかける。
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



### 振り返り (2分)

- ・「次は、振り返りを行います。演習資料 1 の下の方にある振り返りの視点 (A 先生という言葉かけ、父親の気持ち、A 先生の気持ち、父親と A 先生の関係、今後の B 子への影響) を参考に、グループで感じたこと、気付いたことを話してください」
- ・「時間は 2 分です。特定の方だけが話すのではなく、3 人がバランスよく話せるようにしてください。では、始めましょう」
- ※ グループを回って、よい振り返り (テキスト資料の「3 (2) 心配りのポイント」、  
「3 (3) 普段の生活で大切なこと」に添う内容) ができているグループを見つけておく。
- ・「時間です」



## 演習進行案 1（進行者用）

### ロールプレイ〈パターン2〉（2分）

- ・「次は、パターン2でロールプレイを行います。役割を交替します。今までの役割とは替えて、A先生役、B子の父親役、観察者を決めてください。（様子を見て）決まりましたか」
- ・「時間は2分です。それでは始めてください」（2分）
- ※ 進行者は、各グループを回ってロールプレイの様子を観察し、照れがあるグループには真剣に行ってもらえるよう声をかける。
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



### 振り返り（2分）

- ・「振り返りを行います。振り返りの視点は先ほどと同じです。先ほどと同じように、感じたこと、気付いたことを話してください。また、パターン1との違いについても話してみてください」
- ・「時間は2分です。では、どうぞ」
- ※ グループを回って、よい振り返り（テキスト資料の「3（2）心配りのポイント」、  
「3（3）普段の生活で大切なこと」に添う内容）ができているグループを見つけておく。
- ・「時間です」



### ロールプレイ〈パターン3〉（2分）

- ・「最後に、パターン3でロールプレイを行います。役割を交替して、今までやっていない役で行います」
- ・「時間は2分です。それでは始めてください」（2分）
- ※ 進行者は、各グループを回ってロールプレイの様子を観察し、照れがあるグループには真剣に行ってもらえるよう声をかける。
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



### 振り返り（2分）

- ・「振り返りを行います。パターン1、2との違いも交えながら、先ほどと同じように振り返りを行ってください」
- ・「時間は2分です。では、始めましょう」
- ※ グループを回って、よい振り返り（テキスト資料の「3（2）心配りのポイント」、  
「3（3）普段の生活で大切なこと」に添う内容）ができているグループを見つけておく。
- ・「時間です」



**全体での振り返り (3分)**

- ・「各グループのパターン1～3の振り返りで話題になったことを、どなたか発表していただけますか」
- ・「それでは、〇〇先生お願いします」
- ※ テキスト資料の「3 (2) 心配りのポイント」、「3 (3) 普段の生活で大切なこと」に添う内容は、特に取り上げて確認する。  
例えば・・・
  - 「パターン1だとA先生の本当に言いたいことが伝わっていないよね」
  - 「パターン1のように言われたらお父さんも頭にくるよな」
  - 「パターン1は、A先生は自分の思いだけで話していて、父親の意見を聴こうとしていないよね」
  - 「パターン1のような言い方だと当然、関係は悪くなるよね」
  - 「せっかく熱心にやっても、A先生の思いがきちんと伝わらないと一生懸命さも無駄になってしまうよね」
  - 「パターン2のようになるためには、普段の生徒との関わりが大切だよな」
  - 「今までの私はパターン1でやってきたな。パターン2がよいのは分かっているのだけれど、どうしたらいいのかな」
  - 「パターン2だとお互い気持ちいいね」
  - 「パターン3では、『心配をかけた』ということについては、自分の非を認めているよね」
- ※ 全体での振り返り (3分) に収まるように時間を考えて、数名に聞く。
- ※ 研修者から自発的な発表がない場合やテキスト資料に添う内容が出ない場合は、進行者が見取った、よい振り返りをしていたグループを指名して話してもらう。  
(発表のあと、研修者の発表を基にまとめる)
- ・「ありがとうございます。パターン1のような関係になってしまうと、その後なかなかうまくいきませんよね。思いがけず失敗してしまっても、パターン3のように関係を修復する努力をすることも必要です。もちろん、初めからパターン2のような関係が望ましいですね。パターン2では、相手の立場に立って、心配したり、労ったりしていますね。私はこう思うというようなIメッセージで話もしていますね。パターン3では、指導は当然行わなければならないものとしていながらも、相手に心配をかけてしまったという心理的事実に関する謝罪は行っていますね」

## 3 パターンの言葉かけ（休み時間編）

### 〈準備物〉

- ・タイマー（進行者用）
- ・演習資料2（各自）

### ロールプレイの進め方の説明（6分）

- ・「これからロールプレイを行います。演習資料2『3パターンの言葉かけ（休み時間編）』をご覧ください」
- ・「あらかじめお願いしていた3人組でロールプレイを行っていただきます」
- ・「最初に、役割分担をします。A先生役、B男の父親役、観察者です。今日の演習では、この3つの役を全て体験してもらいます。まず、初めの演習での役割を決めてください。（様子を見て）決まりましたか。それでは、役割を確認します。（挙手してもらおう）A先生役の方？B男の父親役の方？観察者の方？ありがとうございます。椅子はグループで話し合っ、話しやすいようにご自由に動かしていただいて構いません」
- ※ ロールプレイなので、役割は性別にこだわらなくてよい。
- ・「それでは、事例2とパターン1、パターン2、パターン3に目を通してください」（様子を見て）
- ・「確認ですが、前提として、A先生は指導に関してとても熱心です。そして、B男を嫌っているというわけではありません」
- ・「質問はありませんか」



### ロールプレイ〈パターン1〉（2分）

- ・「まず初めは、パターン1でロールプレイを行います。ロールプレイですから、できるだけその役になりきって演じてください。本気で演じることで、お互いがどのように感じるかわかると思います」
- ・「時間は2分です。それでは始めてください」（2分）
- ※ 進行者は、各グループを回ってロールプレイの様子を観察し、照れがあるグループには真剣に行ってもらえるよう声をかける。
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



### 振り返り（2分）

- ・「次は、振り返りを行います。演習資料2の下の方にある振り返りの視点（A先生という言葉かけ、父親の気持ち、A先生の気持ち、父親とA先生の関係、今後のB男への影響）を参考に、グループで感じたこと、気付いたことを話してください」
- ・「時間は2分です。特定の方だけが話すのではなく、3人がバランスよく話せるようにしてください。では、始めましょう」
- ※ グループを回って、よい振り返り（テキスト資料の「3（2）心配りのポイント」、「3（3）普段の生活で大切なこと」に添う内容）ができていないグループを見つけておく。
- ・「時間です」



## 演習進行案2（進行者用）

### ロールプレイ〈パターン2〉（2分）

- ・「次は、パターン2でロールプレイを行います。今度は、役割を交替します。今までの役割とは替えて、A先生役、B男の父親役、観察者を決めてください。（様子を見て）決まりましたか」
- ・「時間は2分です。それでは始めてください」（2分）
- ※ 進行者は、各グループを回ってロールプレイの様子を観察し、照れがあるグループには真剣に行ってもらえるよう声をかける。
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



### 振り返り（2分）

- ・「振り返りを行います。振り返りの視点は先ほどと同じです。先ほどと同じように、感じたこと、気付いたことを話してください。また、パターン1との違いについても話してみてください」
- ・「時間は2分です。では、どうぞ」
- ※ グループを回って、よい振り返り（テキスト資料の「3（2）心配りのポイント」、  
「3（3）普段の生活で大切なこと」に添う内容）ができていないグループを見つけておく。
- ・「時間です」



### ロールプレイ〈パターン3〉（2分）

- ・「最後に、パターン3でロールプレイを行います。役割を交替して、今までやっていない役で行います」
- ・「時間は2分です。それでは始めてください」（2分）
- ※ 進行者は、各グループを回ってロールプレイの様子を観察し、照れがあるグループには真剣に行ってもらえるよう声をかける。
- ・「時間になりました。ロールプレイを止めてください」



### 振り返り（2分）

- ・「振り返りを行います。パターン1、2との違いも交えながら、先ほどと同じように振り返りを行ってください」
- ・「時間は2分です。では、始めましょう」
- ※ グループを回って、よい振り返り（テキスト資料の「3（2）心配りのポイント」、  
「3（3）普段の生活で大切なこと」に添う内容）ができていないグループを見つけておく。
- ・「時間です」



**全体での振り返り（3分）**

- ・「各グループのパターン1～3の振り返りで話題になったことを、どなたか発表していただけますか」
- ・「それでは、〇〇先生お願いします」
- ※ テキスト資料の「3（2）心配りのポイント」、「3（3）普段の生活で大切なこと」に添う内容は、特に取り上げて確認する。
  - 例えば・・・
  - 「パターン1だとA先生の本当に言いたいことが伝わっていないよね」
  - 「パターン1のように言われたらお父さんも頭にくるよな」
  - 「パターン1は、A先生は自分の思いだけで話していて、父親の意見を聴こうとしていないよね」
  - 「パターン1のような言い方だと当然、関係は悪くなるよね」
  - 「せっかく熱心にやっても、A先生の思いがきちんと伝わらないと一生懸命さも無駄になってしまうよね」
  - 「パターン2のようになるためには、普段の生徒との関わりが大切だよな」
  - 「今までの私はパターン1でやってきたな。パターン2がよいのは分かっているのだけれど、どうしたらいいのかな」
  - 「パターン2だとお互い気持ちいいね」
  - 「パターン3では、『心配をかけた』ということについては、きちんと自分の非を認めているよね」
- ※ 全体での振り返り（3分）に収まるように時間を考えて、数名に聞く。
- ※ 研修者から自発的な発表がない場合やテキスト資料に添う内容が出ない場合は、進行者が見取った、よい振り返りをしていたグループを指名して話してもらう。
  - （発表のあと、研修者の発表を基にまとめる）
- ・「ありがとうございます。パターン1のような関係になってしまうと、その後なかなかうまくいきませんよね。思いがけず失敗してしまっても、パターン3のように関係を修復する努力をすることも必要です。もちろん、初めからパターン2のような関係が望ましいですね。パターン2では、相手の立場に立って、心配したり、労ったりしていますね。私はこう思うというようなIメッセージで話もしていますね。パターン3では、指導は当然行わなければならないものとしていながらも、相手に心配をかけてしまったという心理的事実に関する謝罪は行っていますね」

## 〈引用・参考文献一覧〉

◇ ” 困った親” への対応 こんなときどうする？

嶋崎政男著  
(2005年 ほんの森出版)

◇ 保護者との関係に困った教師のために

小林正幸・有村久春・青山洋子編著  
(2004年 ぎょうせい)